



株主・投資家の皆様へ

株主通信

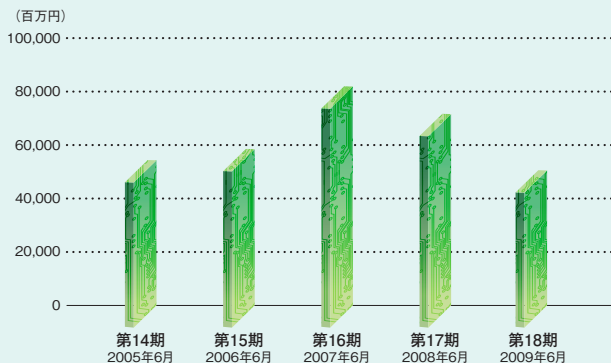
第18期 中間 | 平成21年1月1日から平成21年6月30日まで

SiIX
We care.

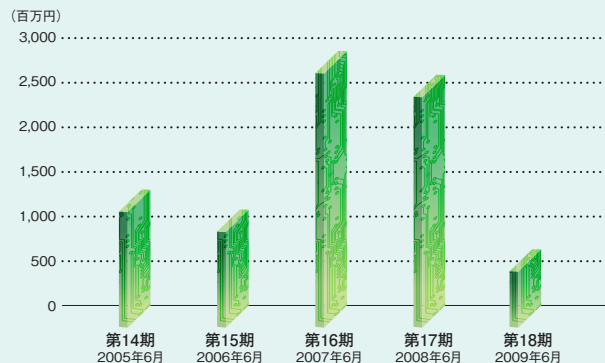
シークス株式会社

証券コード 7613

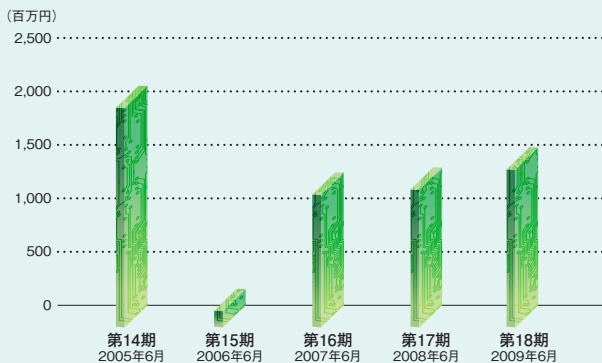
売上高



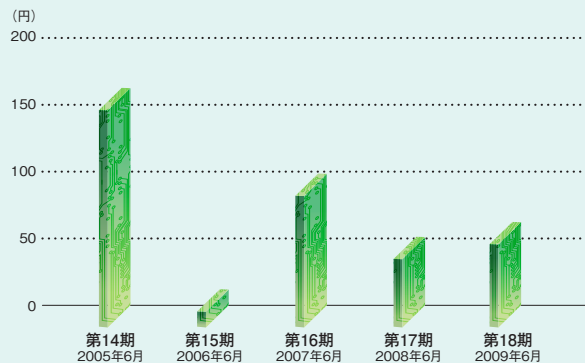
経常利益



中間純利益



1株当たり中間純利益



		第14期 2005年6月	第15期 2006年6月	第16期 2007年6月	第17期 2008年6月	第18期 2009年6月
		連結	連結	連結	連結	連結
売上高	(百万円)	54,123	58,688	81,846	71,573	50,572
経常利益	(百万円)	1,298	1,076	2,852	2,589	632
中間純利益	(百万円)	2,050	152	1,240	1,286	1,479
1株当たり中間純利益	(円)	162.72	12.08	98.46	51.05	62.23

(注) 2008年1月1日付にて、1株につき2株の割合で株式分割を行っております。



代表取締役会長兼CEO
村井史郎

株主の皆様には日頃から温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第18期中間株主通信をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期は、米国の金融危機に端を発した金融市場の混乱が欧米のみならず資源国・新興国の実態経済にまで連鎖波及し、各国政府の対応にも拘らず世界経済は百年に一度とも言われる深刻な景気後退局面に陥りました。

当社の主要な事業分野であります電気・電子、自動車関連業界におきましても、欧米を始め各国の経済情勢が急激に悪化した環境のもとで生産調整が続き、とりわけ自動車関連業界が大きな打撃を受けました。4～6月は各国の補助金政策等もあり、ようやく底は打ったものの、回復力はまだ弱い状況が続きました。

このような経営環境下、当社の2009年中間期の営業展開も車載機器分野を中心に大きな影響を受けました。このため、影響を最小限に食い止めるべく、新規プロジェクト立ち上げなどの営業努力とともに、設備投資や在庫の圧縮、経費削減に努めた結果、売上高、営業利益、経常利益とも前年同期実績には及びませんでした。黒字は確保することができました。

当下半期の市場動向は、これまでの過度な在庫調整が一巡し、まだ先行き不透明感はありますが、受注状況は徐々に回復に向かっていくものと見込んでおります。当社といたしましては、営業面では回復の動きを確実に捉えるとともに、上期から取り組んでおります来年度以降にも繋がる新規案件への取り組みを継続し、また、在庫圧縮や経費削減などの効率化を引き続き強力に進めて、早期業績回復に努めていく所存です。株主の皆様には、どうか引き続きご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

平成21年9月

事業の概況

当中間連結会計期間の経済環境を顧みますと、わが国経済は、在庫調整の一巡、アジア向け輸出の増加等を背景に、製造業を中心に緩やかな持ち直しが見られましたが、欧米向け輸出の減少、円高の影響など、依然として厳しい収益環境が続きました。海外経済は、アジア経済では特に中国において内需が牽引役となり、回復基調で推移いたしましたが、欧州・米国において雇用情勢の厳しさを背景に個人消費が減少し、合わせて外需の落ち込みによる生産調整が持続いたしました。

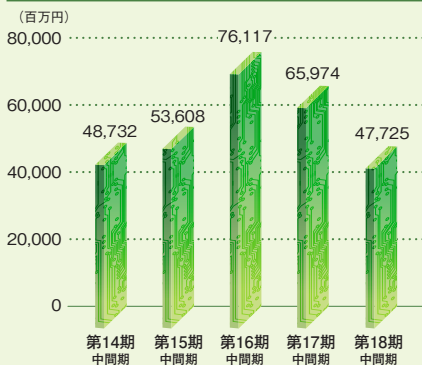
このような状況下、当社の当中間連結会計期間の**売上高は505億7千2百万円**となり、前年同期に比べて210億円の減少(29.3%減)となりました。利益面では、売上高の減少にともない**営業利益は5億5千3百万円**と前年同期に比べて16億2千5百万円の減少(74.6%減)となりました。また、**経常利益は6億3千2百万円**と前年同期に比べて19億5千6百万円の減少(75.6%減)となりましたが、**中間純利益**は、主に法人税法の改正により、外国子会社配当金益金不算入制度が導入され、繰延税金負債を16億3千3百万

セグメント別の概況

電子部門

当社グループのコアになる部門であり、通信機器、車載関連機器、情報機器、家庭電気機器、産業機器、一般電子機器・デバイス等に係る完成品、組立品、基板実装品、部品単体・キット等を幅広く取扱っております。この部門では、主に車載関連機器用部材・基板実装品の出荷が減少したことに加え、円高の影響を受けたこと等により、当中間連結会計期間の売上高は477億2千5百万円となり、前年同期に比べて182億4千8百万円の減少(27.7%減)となりました。営業利益は、売上高が減少したこと等により12億2千5百万円となり、前年同期に比べて15億3千4百万円の減少(55.6%減)となりました。

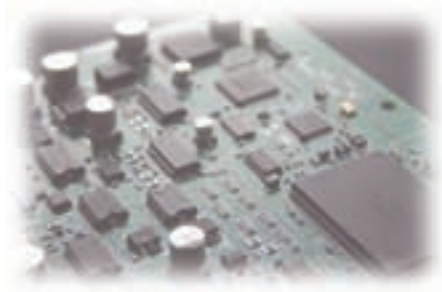
電子部門売上高の推移(連結)



機械部門

自動車用ワイヤーハーネス部材、設備機械等を取扱っております。当中間連結会計期間の売上高は27億1千5百万円となり、前年同期に比べて27億9千9百万円の減少(50.8%減)となりました。営業損失は1千5百万円となり、前年同期に比べて3千2百万円の減少(前年同期は1千6百万円の営業利益)となりました。

円取り崩すこととなったため、14億7千9百万円と前年同期に比べて1億9千2百万円の増加(15.0%増)となりました。



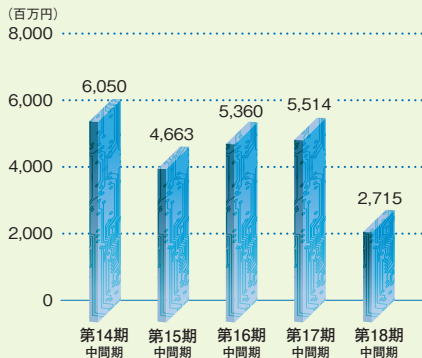
品 種 別 売 上 高

	第17期中間期		第18期中間期	
	金額(百万円)	構成比率(%)	金額(百万円)	構成比率(%)
家 電 機 器 (テレビ、エアコン等)	22,246	31.1	19,469	38.5
産 業 機 器 (汎用エンジン用基板等)	8,864	12.4	8,762	17.3
車 載 電 装 品、カーオーディオ等	19,105	26.7	8,431	16.7
情 報 機 器 (スキャナー、プリンター等)	10,024	14.0	7,605	15.1
通 信 機 器 (携帯電話用カメラモジュール等)	4,037	5.6	2,373	4.7
一 般 電 子 部 品	1,698	2.4	1,084	2.1
機 械 そ の 他	5,599	7.8	2,847	5.6
計	71,573	100.0	50,572	100.0

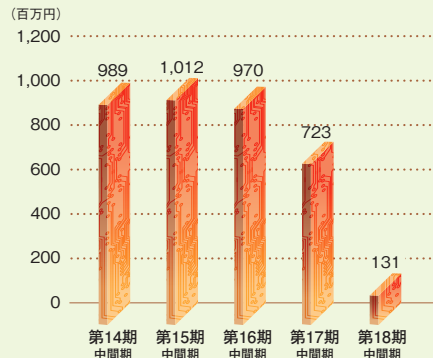
そ の 他 部 門

印刷インキ、化成品、雑貨等を取扱っております。当中間連結会計期間の売上高は1億3千1百万円となり、前年同期に比べて5億9千1百万円の減少(81.8%減)となりました。営業利益は6百万円となり、前年同期と比べて1千9百万円の減少(74.3%減)となりました。

機械部門売上高の推移(連結)



その他部門売上高の推移(連結)



シークスネットワーク

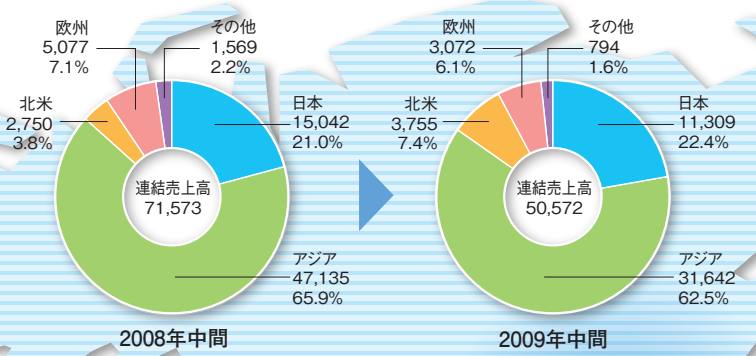
幅広い海外拠点網の有機的なネットワークをベースに、地域、業務内容などの観点から、お客様にさまざまなアウトソーシングの選択肢を提供できることがシークスの強みのひとつです。

部材調達から、生産、物流に至るまで、お客様のグローバルな事業展開をお手伝いできる拠点を世界13カ国に約40ヶ所設置しております（2009年6月末現在）。

-  SIIX Europe GmbH
-  SIIX EMS Slovakia s.r.o.

海外売上高構成比

単位:百万円



-  SIIX (Shanghai) Co., Ltd.
-  SIIX H.K. Ltd.
-  SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd.
-  SIIX (Shanghai) Co., Ltd. Dalian Branch
-  SIIX (Dongguan) Co., Ltd.
-  SIIX TWN Co., Ltd.
-  SIIX Singapore Pte. Ltd.
-  PT SIIX Electronics Indonesia
-  SIIX Bangkok Co., Ltd.
-  SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD.
-  SIIX Phils., Inc.
-  SIIX Logistics Phils, Inc.

シークスネットワーク

▶▶ PICK UP!

SIIX Bangkok Co., Ltd.






Abdulrahim Place, 17th Floor, 990 Rama IV Road, Silom, Bangkok, Bangkok, 10500 THAILAND

タイ・バンコクに位置する営業・物流拠点です。自社のロジスティックセンターを持ち、タイに進出している日本の電気・自動車メーカーや自社工場向けに、部材調達業務やJIT、VMIなどの物流サービスを幅広く提供しています。



▲タイ ロジスティックセンター

-  SIIX U.S.A. Corp. 
-  SIIX U.S.A. Corp. Irvine Branch 
-  U.S.A. ZAMA, Inc. 
-  SIIX MEXICO, S.A DE C.V. 
-  SIIX do Brasil Ltda. 

主な事業内容	
電子部品等の輸出入販売・物流…………… 	各種基板実装および機器・部品の組立・加工…………… 
電子部品等の輸出入販売…………… 	小型エンジン用部品の輸出入販売…………… 
支社・駐在員事務所…………… 	

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当中間期 (2009年6月30日現在)	前期 (2008年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	37,149	37,863
現金及び預金	8,143	5,763
受取手形及び売掛金	18,100	17,352
商品及び製品	7,485	8,755
仕掛品	622	949
原材料及び貯蔵品	1,835	3,728
その他	1,053	1,402
貸倒引当金	△ 91	△ 88
固定資産	13,684	13,765
有形固定資産	10,206	10,897
建物及び構築物(純額)	4,408	4,334
機械装置及び運搬具(純額)	3,034	3,576
土地	2,275	2,500
その他(純額)	487	486
無形固定資産	779	789
投資その他の資産	2,698	2,078
投資有価証券	1,156	1,086
出資金	670	679
その他	1,284	680
貸倒引当金	△ 413	△ 367
資産合計	50,834	51,628

科目	当中間期 (2009年6月30日現在)	前期 (2008年12月31日現在)
負債の部		
流動負債	29,126	30,580
買掛金	15,684	17,192
短期借入金	10,078	10,077
未払法人税等	611	510
その他	2,752	2,800
固定負債	5,055	6,348
長期借入金	3,866	3,494
退職給付引当金	69	67
その他	1,119	2,786
負債合計	34,182	36,929
純資産の部		
株主資本	18,591	17,614
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	1,853	1,853
利益剰余金	15,271	13,892
自己株式	△ 677	△ 275
評価・換算差額等	△ 2,379	△ 3,293
その他有価証券評価差額金	△ 19	△ 80
繰延ヘッジ損益	23	14
為替換算調整勘定	△ 2,382	△ 3,227
少数株主持分	440	378
純資産合計	16,652	14,699
負債・純資産合計	50,834	51,628

※中間連結貸借対照表・中間連結損益計算書・中間連結キャッシュ・フロー計算書の記載金額は、それぞれ表示単位未満切捨てにより表示しております。

※当連結会計年度より、四半期連結財務諸表規則を適用しております。当中間期と前年同期とは作成基準が異なるため、前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

INTERIM CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

中間連結損益計算書

単位:百万円

科目	当中間期 (2009年1月1日から 2009年6月30日まで)	前中間期 (2008年1月1日から 2008年6月30日まで)	前期 (2008年1月1日から 2008年12月31日まで)
売上高	50,572	71,573	143,483
売上原価	47,238	66,301	132,608
売上総利益	3,334	5,271	10,874
販売費及び一般管理費	2,780	3,091	6,266
営業利益	553	2,179	4,608
営業外収益	213	632	638
営業外費用	134	222	854
経常利益	632	2,589	4,392
特別利益	2	10	60
特別損失	107	265	600
税金等調整前中間(当期)純利益	526	2,334	3,851
法人税、住民税及び事業税	729	995	1,460
法人税等調整額	△ 1,722	52	84
少数株主利益	40	—	—
中間(当期)純利益	1,479	1,286	2,306

中間連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当中間期 (2009年1月1日から 2009年6月30日まで)	前中間期 (2008年1月1日から 2008年6月30日まで)	前期 (2008年1月1日から 2008年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,014	787	2,161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 354	△ 1,220	△ 4,856
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 639	△ 1,313	1,752
現金及び現金同等物に係る換算差額	360	△ 715	△ 1,638
現金及び現金同等物の増減額	2,380	△ 2,461	△ 2,580
現金及び現金同等物の期首残高	5,744	8,324	8,324
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	8,125	5,862	5,744

PICK UP!

キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果、増加した現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、30億1千4百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少額30億8千7百万円の減少要因に対し、売上債権の減少額6億9千9百万円、たな卸資産の減少額42億1千4百万円、および減価償却費9億7千1百万円の増加要因によるものです。

投資活動の結果、減少した資金は、3億5千4百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億7千1百万円、および無形固定資産の取得による支出8千2百万円によるものです。

財務活動の結果、減少した資金は、6億3千9百万円となりました。これは主に、配当金の支払額1億7千4百万円、および自己株式の取得による支出4億2百万円によるものです。

これらの結果、当中間連結会計期間末における連結ベースの資金は、81億2千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ、23億8千万円の増加（41.4%増）となりました。

2月

自己株式の取得

2月17日～3月4日の期間に、100万株（総額401,965,700円）を取得いたしました。（昨年8月～10月に取得した60万株と合わせた累計取得株式数は160万株。）

4月

フィリピンの子会社がISO14001を取得

フィリピンの営業拠点SIIX Logistics Phils, Inc.が環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO14001:2004を取得いたしました。

4月

中国に販売会社設立

中国・広東省東莞市に中国内商社業務を行う販売会社を設立いたしました。既存の当社製造子会社と連携して、日系を含む現地メーカーの人民元による現地調達ニーズに応え、中国内販売の拡大とサービスの向上を図ってまいります。

5月

ドイツ STIHL社のSUPPLIER OF THE YEARを受賞

当社の30年来の取引先であるパワーツールの世界的メーカー・STIHL社（ドイツ）からSUPPLIER OF THE YEAR (2008)を受賞しました。2002年以来、3回目の受賞となります。

4月

「ライティングジャパン」に出展

東京ビッグサイトにて開催されました、「ライティングジャパン～次世代照明技術展～」に出展いたしました。LED照明メーカーや投資家の方々など、多くの皆様にシークスの技術をPRすることができました。

6月

スロバキアの製造子会社がISO/TS16949を取得

当社のスロバキアの工場・SIIX EMS Slovakia s.r.o.が、自動車産業向け固有要求事項を付加した品質マネジメントシステムの国際規格ISO/TS16949:2000を取得いたしました。

会社概要

商号	シークス株式会社
設立	1992年7月1日
資本金	2,144百万円
従業員数	個別 137名 連結 6,645名
本社	大阪市中央区備後町一丁目4番9号
東京事務所	東京都千代田区九段南二丁目3番25号
URL	http://www.siix.co.jp/

取締役、監査役および執行役員

代表取締役会長 執行役員	村井 史郎	CEO (最高経営責任者)
代表取締役社長 執行役員	村瀬 漢章	COO (最高執行責任者)
取締役役員	大庭 勝躬	営業担当兼大阪第一営業部長兼 北米地域、フィリピン、南米地域、韓国担当
取締役役員	近藤 恒雄	経営企画部長兼秘書室長
常勤監査役	戸上 幸一郎	
監査役	岩下 久二男	
監査役	松井 善弘	サカタインクス株式会社 常勤監査役
執行役員	森口 正	関連事業部長
執行役員	池田 喜和	タイ地域担当兼 SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. マネージングディレクター
執行役員	松谷 伸規	香港・中国華南地域担当兼 SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. 董事長兼総経理
執行役員	水谷 嘉弘	東京営業部長兼台湾担当
執行役員	岡田 雅夫	新規事業開発担当兼 シンガポール・インドネシア地域担当
執行役員	岩武 孝明	欧州地域担当兼SIIX Europe GmbH マネージングディレクター 兼SIIX EMS Slovakia s.r.o. マネージングディレクター
執行役員	中崎 正博	総務部長
執行役員	吉井 眞	資材統括部長兼情報システム部担当
執行役員	松嶋 義彦	EMS技術統括部長
執行役員	中尾 泉	大阪第二営業部長兼 中国華東・華北地域担当
執行役員	大野 精二	経理部長

※監査役のうち、岩下久二男氏、松井善弘氏は社外監査役です。

株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	25,200,000株
当中間期末株主数	5,870名

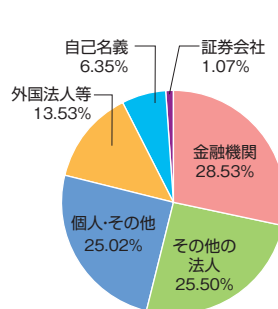
大株主

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
サカタインクス株式会社	5,596,000	22.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,001,400	7.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,297,100	5.15
村井 史郎	1,200,000	4.76
株式会社りそな銀行	1,077,400	4.28
株式会社三井住友銀行	997,400	3.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	629,100	2.50
有限会社フォーティ・シックス	600,000	2.38
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	360,100	1.43
株式会社三菱東京UFJ銀行	360,000	1.43

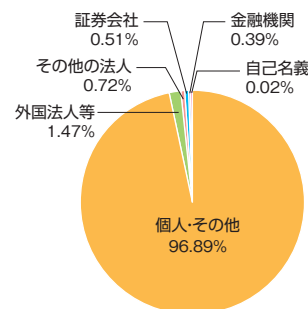
※当社の当該大株主への出資はありません。

※上記のほか当社所有の自己株式1,600,304株(6.35%)があります。

【所有者別所有株式数】



【所有者別株主数】



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月

基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当金 毎年12月31日
中間配当金 毎年6月30日
そのほか必要のあるときは、
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701

東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

(インターネット) [http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/
ホームページURL\) retail/service/daiko/index.html](http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html)

公告方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.siix.co.jp/jp/ir/koukoku.html>

単元株式数 100株

上場取引所 東京証券取引所市場第一部
大阪証券取引所市場第一部

証券コード 7613

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社宛にご照会お願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様

株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に
口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。
上記の電話照会先にご照会お願いいたします。

IRメール配信のご案内

当社では投資家の皆様に対してe-MailによるIR情報配信サービスをおこなっております。ご登録いただいた方々に当社のWebサイト(<http://www.siix.co.jp/>)に新たな情報が掲載されたことをご知らせいたします。ご希望の方は、ディア・ネットサービスホームページ(<https://www.dirnet.jp/7613>)から、簡単にご登録(無料)いただけます。

※当社は、四半期連結財務諸表規則を採用しておりますが、本紙では中間と読み替えております。

【上場株式配当等の支払いに関する通知書について】

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降に当社がお支払いする配当金について、配当金額や徴収税額等を記載した「支払通知書」を株主様宛にお送りすることになりました。「支払通知書」は、株主様が確定申告をする際の添付資料としてご使用いただくことができます。

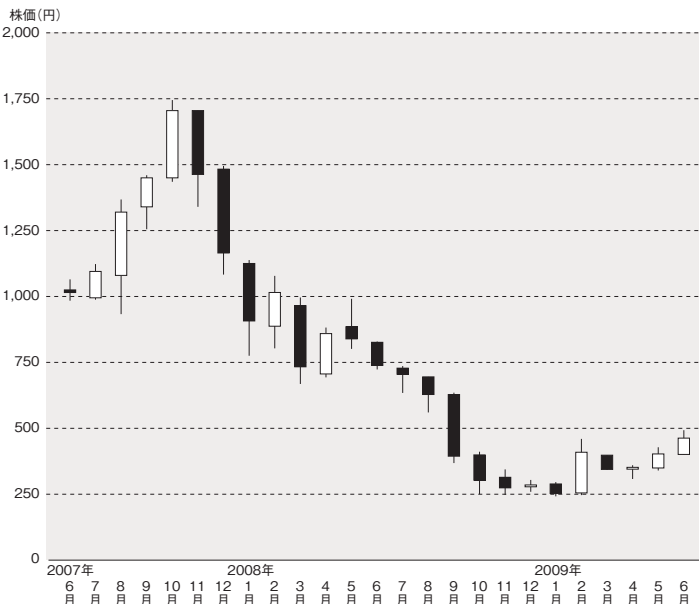
口座振込をご指定の株主様

配当金の振込先をご指定いただいている株主様は、同封の「配当金計算書」が、「支払通知書」を兼ねることになります。

【配当金領収証】にて郵便局等の窓口で配当金をお受取りになる株主様

「配当金領収証」にて郵便局等の窓口で配当金をお受取りになる株主様には、平成21年末～平成22年初に、別途「支払通知書」をお送りする予定です。なお、来年以降にお支払いする配当金については、上記の口座振込をご指定の株主様同様、「配当金領収証」に「配当金計算書」を同封させていただきます。

株価推移 (2007年6月～2009年6月)



(注) 2008年1月1日付にて1株を2株に分割いたしました。なお株価は株式分割を過年度に遡及して調整したものを使用しております。

シークス株式会社

本社 ● 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-4-9 URL ● <http://www.siix.co.jp/>
電話 ● 06-6266-6400 FAX ● 06-6266-6428 証券コード ● 7613



この冊子は再生紙を使用し、印刷
インキにはアメリカ大豆協会認定
の大豆インキを使用しております。